

2022年2月7日

2022年3月期第3四半期 決算短信補足資料



証券コード：4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

損益計算書（連結）

※ご参考：2021年3月期第3四半期実績はあすか製薬株式会社として公表した数値

単位：百万円

	※2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	43,350	44,179	829	1.9%
営業利益	3,776	4,677	901	23.9%
経常利益	3,227	4,790	1,563	48.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,451	4,082	1,631	66.5%

売上高増加要因

- ・産婦人科製品「レルミナ」「フリウエル」の大幅な伸長、内科領域の「チラーチン」が堅調な売上高を維持したほか、「リフキシマ」も好調に推移
- ・動物用医薬品事業における畜産薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移

純利益増加要因

- ・保有する土地および建物を譲渡したことにより、特別利益として固定資産売却益を計上

事業別売上高（連結）

※ご参考：2021年3月期第3四半期実績はあすか製薬株式会社としての数値

単位：百万円

	※2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	39,711	39,685	89.8%	-26	-0.1%
動物用医薬品	3,561	4,377	9.9%	816	22.9%
その他	77	116	0.3%	39	50.6%
合計	43,349	44,178	100.0%	829	1.9%

医療用医薬品減少要因

- ・ 前年度と比較し、今年度は契約一時金を計上していないため

主要製品売上高

単位：百万円

領域	製品	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期		2022年3月期	
		実績	実績	前同比(%)	見込み	前同比(%)
内科	カンデサルタン類 ※1.※2	9,603	9,795	102.0%	12,056	97.8%
	チラーチン	5,572	5,842	104.8%	7,326	101.6%
	リフキシマ	3,379	3,795	112.3%	4,815	111.1%
	メルカゾール	1,084	1,144	105.5%	1,434	102.4%
	アムロジピン ※1	998	848	85.0%	1,051	81.2%
産婦人科	レルミナ	4,365	5,713	130.9%	7,643	133.9%
	フリウエル ※1	2,229	2,643	118.6%	3,222	109.1%
	アンジュ	706	665	94.2%	797	87.7%
	マグセント ※3	724	703	97.1%	832	91.7%
	ルテウム	405	475	117.3%	583	103.9%
泌尿器科	リュープロレリン ※1.※4	3,629	3,932	108.3%	4,844	107.6%

※1 ジェネリック医薬品
※2 配合剤を含む

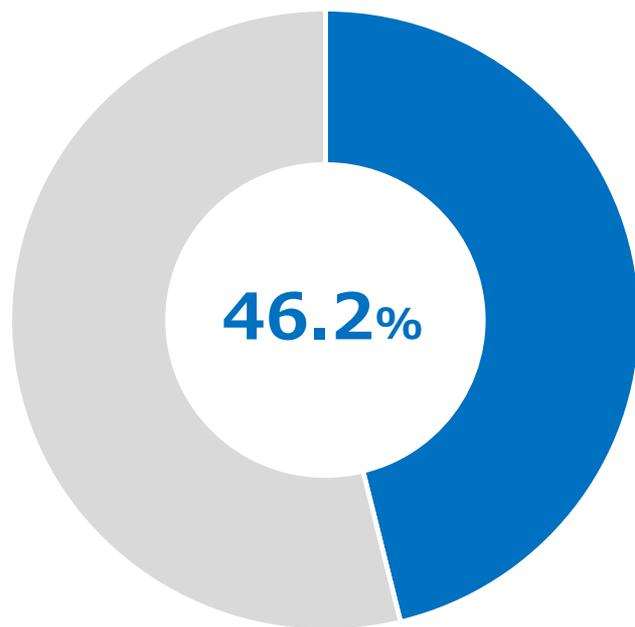
※3 硫酸マグネシウム製剤の合算値

※4 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mg製剤との合算値

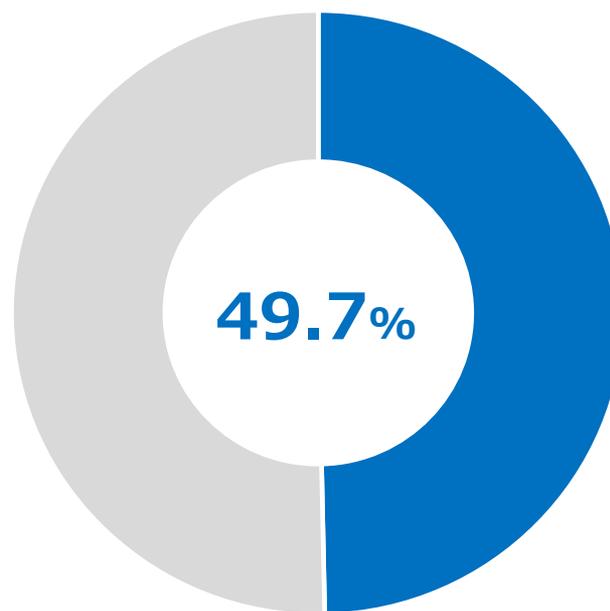
先発品比率

- 先発品
- GE品

2021年3月期
第3四半期



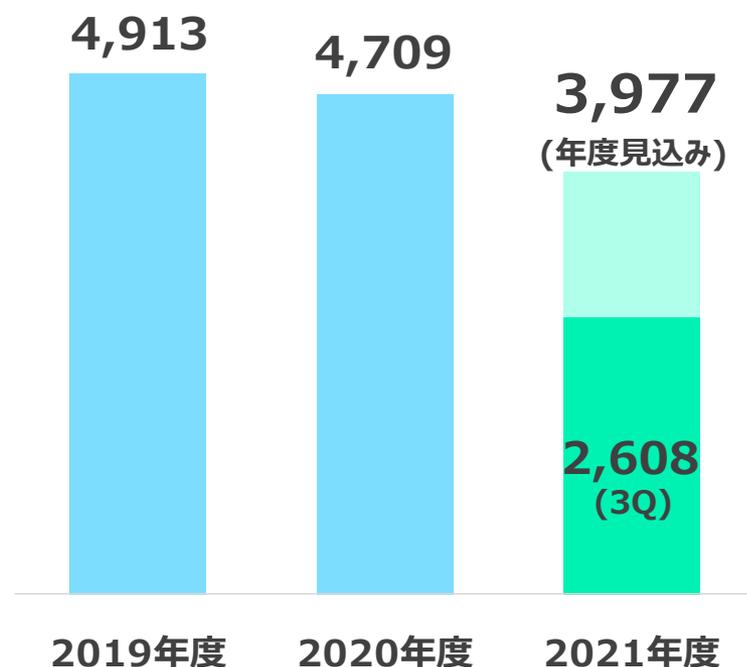
2022年3月期
第3四半期



研究開発の状況

研究開発費推移

(百万円)



2022年2月7日時点

開発番号(一般名)/領域・効能	状況
TAK-385 (レルゴリクス) 子宮内膜症	承認
LF111 (ドロスピレノン) 避妊	Ph III
(オプション契約) PMS/PMDD治療薬	Ph II (医師主導)
(オプション契約) 子宮頸部異形成治療薬	Ph I / II (韓国)
L-105 (リファキシミン) 肝性脳症 (小児)	Ph II / III
AKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症	Ph II ※

※高用量で追加のPh I 試験を開始 (2021年9月)
TAK-385 承認取得 (2021年12月)
LF111 Ph III 試験を開始 (2021年12月)

LF111 (ドロスピノン) 黄体ホルモン単剤の経口避妊薬 (POP)

避妊を希望する日本人女性を対象とした 第Ⅲ相臨床試験開始 (2021年12月～)

ポイント

従来の経口避妊薬 (COC) は卵胞ホルモン (エストロゲン) と黄体ホルモン (プロゲスチン) の配合剤であるため、エストロゲンによる副作用が懸念される以下の服用希望者は禁忌または慎重投与に該当する。

喫煙者、片頭痛、授乳者、肥満者、高血圧、糖尿病、血栓症の既往歴 等

POPはエストロゲンを含まないため、上記対象者への推奨度はCOCよりも高いとWHOでは定義している。

海外ではスペイン、ノルウェー、アメリカなどで販売実績あり。

OCの新たな選択肢を提供する